

検定農家への情報提供
(増刊)牛群検定通信 N o 8 9

平成30年6月

家畜改良事業団
T03-5621-8921

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 中酪情報 5月号 中央酪農会議
乳用子牛等の出生頭数の予測を開始します
乳用牛群検定全国協議会が牛群検定から乳用雌、雄、交雑種の生産頭数予測をHPに公開しました
- 2 全酪新報 6月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその60 出荷乳量の変動幅に注意
夏季の出荷乳量の減少の原因を追いかけます。
- 3 L I A J ニュース5月号 (一社) 家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その54) 月別分娩予定頭数
分娩予定頭数の活用法を解説します。
[検定成績表見方](#) [検索](#)

新しい年間子牛生産状況を提供開始しました

検定成績表の裏面に、新しい子牛情報を追加表示しました。活用のポイントは下図のとおりです。

年間子牛生産状況

(4) 年間出生実績 (出生報告届出による)

母牛	頭数	計	乳用種♀		乳用種♂		交雑種		E T ※10		肉用種	
			頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%
1産	13	13	2	15.4	2	15.4	1	7.7	8	61.5	4	30.8
2産	22	22	4	18.2	2	9.1	1	4.6	15	68.2	15	68.2
3産以上	16	16	6	37.5	4	25.0	0	0.0	6	37.5	5	31.3
計	51	51	12	23.5	8	15.7	2	3.9	29	56.9	24	47.1

※10 肉用種(交雑種含む)は出生報告届出に基づき集計。肉用種以外は牛群検定立会時にE T報告を行ったもの

年間に生産した
交雑種とET和牛
の生産率

(5) 最終授精等

	頭数	計	最 終 授 精 (E T)														未授精 (未報告含む)	繁殖に 供さず
			乳用種♀※11		乳用種♂※11		交雑種		E T ※12		肉用種		不明					
			頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%		
12ヵ月以上 未加入牛	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
未 経 産	4	4	0.0	-	0.0	-	3	75.0	1	25.0	1	25.0	0	-	0	0		
1 産	18	17	3.8	22.2	3.2	18.9	4	23.5	6	35.3	6	35.3	0	-	1	0		
2 産	25	22	4.3	19.4	3.7	17.0	3	13.6	11	50.0	11	50.0	0	-	3	0		
3産以上	20	18	2.8	15.3	1.2	6.9	6	33.3	8	44.4	8	44.4	0	-	2	0		
経産牛計	63	57	10.8	19.0	8.2	14.4	13	22.8	25	43.9	25	43.9	0	-	6	0		
計	72	61	10.8	17.7	8.2	13.4	16	26.2	26	42.6	26	42.6	0	-	11	0		

(6) 月別分娩予定頭数(明細)

分娩予定年月	頭数(初産)	乳用種♀ ※11		乳用種♂ ※11		交雑種		E T ※12		肉用種		不明		推定 初産分娩 ※13
		頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	頭	%	
平成30年03月	1(0)	0.0	-	0.0	-	0	-	1	100.0	1	100.0	0	-	0
平成30年04月	3(1)	0.0	-	0.0	-	1	33.3	2	66.7	2	66.7	0	-	0
平成30年05月	0(0)	0.0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
平成30年06月	6(0)	0.9	15.0	0.1	1.7	1	16.7	4	66.7	4	66.7	0	-	1
平成30年07月	5(1)	1.8	36.0	0.2	4.0	2	40.0	1	20.0	1	20.0	0	-	0
平成30年08月	10(0)	1.9	19.2	2.1	20.8	1	10.0	5	50.0	5	50.0	0	-	0
平成30年09月	7(1)	1.4	20.6	1.6	22.3	3	42.9	1	14.3	1	14.3	0	-	1
平成30年10月	2(1)	0.0	-	0.0	-	1	50.0	1	50.0	1	50.0	0	-	0
計	34(4)	6.1	17.8	3.9	11.6	9	26.5	15	44.1	15	44.1	0	-	2

※11 乳用種の性比については ♀:♂ = 48:52(性選別 50:50)として計算。ただし性選別は略号末尾を「X」として報告したもの

※12 E Tは牛群検定立会時にE T報告を行ったもの。そのうち、種雄牛略号から肉用種(交雑種含む)を表示

※13 検定未加入の未経産牛が平均初産月齢 25ヵ月(あなたの検定成績)で分娩したと仮定したときの推定頭数

検定未加入の未経産牛も個体識別
情報から表示

~~~~牛群検定！点検シート（その3 湿気と体細胞数）~~~~

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！

都府県は本格的な梅雨となり、ジメジメして鬱陶しい季節となりました。このころから増え始めるのが体細胞数(乳房炎)です。原因は、ジメジメした気候により牛床が乾燥しないことや、湿度上昇によるストレス、またサイレージ等が2次発酵やカビなどにより品質劣化するなど様々な要因が考えられます。

農家コード

氏名

・ 検定成績表の1枚目に過去1年分を遡る移動13カ月成績が表示されています。

① 昨年の梅雨の時期（6月～7月ごろ）の体細胞数が上がっていませんか？

Yes No

→ 昨年の同時期に体細胞数が上昇していれば、湿気が原因となっていると考えられます。

牛舎内の空気が滞留しないように梅雨対策を講じる必要があります。

② 梅雨に入ってから、急激に体細胞数が上がった検定牛がいませんか？

Yes No

→ 適度な気温と湿度は乳房炎の原因菌にとって好環境となります。搾乳器具等も湿気により乾燥しずらく、洗浄不良などがあれば乳房炎に感染するリスクは高まります。

③ 6月の乳量が下がっていませんか？

Yes No

→ 都府県では7月から暑熱により乳量が急速に減少します。もし、6月期も7月期なみに乳量減少していれば、飼料の劣化なども考えられます。カビは特に注意しましょう。

Yesがある時は、湿気対策を再点検しましょう。

・ 湿気対策

① 牛床が乾燥していますか？

Yes No

No→糞尿で汚れた牛床は乳房炎の原因となります。清掃を行い、清潔な敷料により、牛床が乾燥するようにしてください。

② 梅雨で多少涼しくとも送風扇を回していますか？

Yes No

No→風通しや換気を確保することが湿気対策となります。

③ ミストや降雨等により牛体が濡れてしまったとき、濡れたまま搾乳していませんか？

Yes No

Yes→濡れたまま搾乳すると、汚水が牛体から乳房に流れこみ乳房炎の原因となります。拭き取りましょう。

④ 運動場等が泥濘化していませんか？

Yes No

Yes→泥濘化した運動場は牛体の汚れとなり、乾乳牛等でも乳房炎の原因となります。

梅雨の湿気を
防ごう

